

令和6年7月4日（水）

魚沼きこえの教室だより

令和6年度 第3号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：小池 豊

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

Tel:025-792-5462 fax:025-792-5465

Email:koike.yutaka@nein.ed.jp

聞こえているけど、聞こえにくい…

地域の小学校・中学校で学ぶ『難聴のある』子どもたちは、「聞こえているけれど、聞こえにくい…」という現実があります。聞こえているというのは、聞こえやすい条件が整ってはじめて聞こえるのであって、聞こえにくい環境であれば当然聞こえません。聞こえにくさは外見では判断できませんし、条件によって聞こえやすくなれば、聞こえにくくなるため、一般的に「聴覚障害は理解されにくい」と言われます。



4月から難聴児の視点や立場で、授業参観をたくさんさせていただきました。ご多用の中、本当にありがとうございました。どの学校でも難聴児に対する個別の配慮や支援をしていただき、あらためて感謝申し上げます。具体的に実践されていた有効な配慮について、今回は3つご紹介させていただきます。

●全体の注目を促し、静寂と視線を確認してから説明を始める。

（難聴児が一番うれしい支援です。聞くという心構えができてから話していただくと、理解が深まります。）

●子どもたちの発言を、教師が復唱したり、板書したりする。

（子どもの発言は伝わりにくいものです。もう一度わかりやすく繰り返していただくと、大変助かります。）

●簡潔で授業の流れが分かりやすい、1時間に1板書を心掛ける。

（電子黒板やタブレット等による学習を併用しつつも、授業のねらいや流れ等を視覚的に確かめ、思考を促すためのツールとして「板書」は大変有効です。）

補聴器のトラブル注意！ 梅雨～夏時期のケアー

夏場の補聴器の故障で一番多いのは、汗が原因と思われる電池室の錆（さび）です。汗や湿気が補聴器や人工内耳の中に浸入すると、金属部分の錆や腐食の原因となります。そして、補聴器から雑音が聞こえたり、ロジャーの接続ができなくなったりすることがあります。

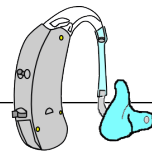
◎3つの対策！

① こまめに汗を拭き取る。

補聴器や人工内耳を外したら、まずは乾いた布などで拭く。
その後に補聴器は電池室を開ける、人工内耳は充電を外す。

② 電池自体もよく拭く（強くゴシゴシ拭かないでください）。

③ 乾燥ケース、または乾燥機に入れる。



補聴器、人工内耳の
周りをよく拭く！
また、耳の周りの髪
の毛も。



学校生活の中で特に気をつけていただきたいのが、①です。体育など体を動かした後などに「補聴器（人工内耳）を拭こうね」と声をかけたり、汗を拭き取る時間を確保したりすると良いと思います。

もし、学校で補聴器や人工内耳のトラブルが疑われるときは、すぐに保護者に連絡をし、補聴器販売店などで見てもらいましょう。また、きこえの教室にも連絡をいただければ、できる限りの対応をします。